

2024年2月19日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ  
株式会社三菱 UFJ 銀行  
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

**環境省 第5回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパン（環境大臣賞）  
「間接金融部門」金賞、「金融サービス部門（証券部門）」金賞の受賞について**

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 <sup>かめざわ ひろのり</sup> 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup> 半沢 淳一、以下 三菱 UFJ 銀行）は、本日発表された第5回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパン<sup>[1]</sup>（環境大臣賞）において、間接金融部門で3年連続となる金賞を受賞し、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 <sup>こばやし まこと</sup> 小林 真、以下 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券）も金融サービス（証券）部門では初となる金賞を受賞いたしました。また、MUFG は昨年度に続き、情報開示の充実度で一定基準を満たし、環境サステナブル企業部門で「環境サステナブル企業」に選定されました。



三菱 UFJ 銀行は、カーボンニュートラルの達成に向けて、グローバルで再生可能エネルギーのプロジェクトを推進し、世界トップレベルの実績を上げてきました。また、多排出産業を中心にお客さまとの対話を重ね、国内外のトランジションファイナンスの普及を進めることで、ESG ファイナンス市場の発展に貢献しています。加えて、「MUFG トランジション白書」<sup>[2]</sup>の発行および国際イニシアティブへの参画などを通じて、日本およびアジアの地域特性や置かれている状況、進むべき方向性を国際社会に発信しており、地域や環境に根差した資金調達の枠組みを構築することに尽力している点が高く評価され、金賞を受賞しました。

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券は、全社的な ESG 推進体制を継続的に強化しており、海外評価機関の視点も含めた充実した情報を発行体・投資家の双方に提供するなど、ESG ファイナンス市場における透明性・実効性の向上に貢献しています。また、GHG 多排出セクター以外の企業における初のトランジションラベルを用いた先駆的なファイナンス支援や、MUFG や米モルガン・スタンレーとの連携により、機動的なファイナンス手段を発行体に提供していることが高く評価され、金賞を受賞しました。

MUFGは自社の存在意義（パーパス）を「世界が進むチカラになる。」と定め、全てのステークホルダーが次へ、前へと進むチカラになること、そのために全力を尽くすことを企業活動の指針としています。金融のチカラでサステナブルな社会の実現をめざし、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 第5回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」については以下をご参照下さい。

[https://www.env.go.jp/press/press\\_02099.html](https://www.env.go.jp/press/press_02099.html)

[2] 「MUFG トランジション白書」については以下をご参照下さい。

<https://www.bk.mufg.jp/cn/index.html>

以 上